

ステップ5 もくじ

整数と小数・分数 ①～⑥	3
倍数 ①～⑩	6
約数 ①～⑫	11
約分と通分 ①～⑥	17
分数のたし算 ①～⑭	20
分数のひき算 ①～⑩	27
分数のたし算・ひき算 ①～④	32
分数のかけ算・わり算 ①～④	34
面積 ①～⑱	36
平行四辺形の面積 (①～⑥)	36
三角形の面積 (⑦～⑭)	39
台形の面積 (⑮～⑰)	43
ひし形の面積 (⑱)	44
小数のかけ算 ①～⑭	45

小数のわり算 ①～⑯	52
整数÷小数 (②)	52
小数÷小数 (③・④)	53
わり進み (⑤～⑫)	54
あまりを求める (⑬・⑭)	58
商を四捨五入 (⑮・⑯)	59
円と円周 ①～⑥	60
立体 ①～⑧	63
体積 ①～⑭	67
平均 ①～⑥	74
単位量あたりの大きさ ①～⑩	77
多角形 ①～④	82
図形の合同 ①～⑫	84
わりあい 割合とグラフ ①～⑯	90
答え	98

はじめに

「読み書き」はできるが、「算数はとても苦手」という子がいます。

教科書やプリントに問題がたくさんあるのを見ただけで学習意欲を減退させます。算数の勉強をする以前の問題です。そして、重症の「算数できない子」になってしまいます。それは仕方ないことなのでしょうか？

いや、何か手段があるはずです。それでは、克服させるにはどうしたらよいでしょう。

まず、「できる自分」に出会うことです。やさしい問題を少しやり、「問題ができた」ことを指導者と一緒に確認するのです。

「〇年生だからこれはできないとだめ」という思いがあったら、すぐ捨ててください。

次は、「続ける」ことです。少しでいい。何度も「できる自分」に出会い続ければ、いつの間にか「できる自分」に気付きます。子供自身が「できる自分」に気付かなければなりません。

指導者が「こんなやさしい問題はできて当たり前」と思っていたら、子供は「できる自分」に気付きません。

このプリントを少しずつでいい、励ましながら「やり切る」ようにさせてください。途中で投げ出すことなくこのプリント1冊をやり切ったとき、「算数が苦手でない自分」にきっと気付いていることでしょう。

梶谷 雄三

(学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会)

先生方へ



このプリントは「算数が苦手な支援が必要な」子のために作りました。そのために、基礎は押さえながらも、思いっきりやさしくしています。

集中力が持続しにくい子でもできるように、問題数を少なくして、書くスペースもゆとり取っています。

学校の学年・進度とは関係なくお使いください。

【本書全巻の特長】

- この巻では5年生のほぼ全単元を扱っていますが、「5年生」用とは書いていません。
「下の学年の内容をやっているのは恥」、という誤った思いを抱かせないためです。
- 問題数は少なくしてあります。
- 書くスペースを多く取っています。
- 単元の初めのページに、わかりやすい説明・工夫をしています。
- 問題は、それぞれ型分けして出題しています。
- うすい文字でやり方や解答例を示しています。まずはそれらをなぞらせてください。

《この巻の特長》

- 異分母分数の加減ができるように、倍数→最小公倍数→通分→異分母分数の加減という一連の学習を展開しています。つながりを理解するとやる気が出てくるでしょう。
- 小数のわり算も大事な単元です。小数点の移動など手間のかかる計算ですが、整数のわり算が基礎です。